

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	Web制作 I	年度	2019年度

学年	1年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	8単位
授業方法	演習	授業時数	198時間

科目の内容

HTMLとCSSを基礎から学び、コーディングスキルを身に付ける。また、CSSレイアウトが確実にできるようになること。レスポンスWebデザインなどの新しい技術についても積極的に取り入れる。

具体的な達成目標

- ・HTMLとCSSを理解し、デザインからWebページのコーディングが行えるようになる。
- ・レスポンスWebデザインを理解し、表示デバイスごとに最適な表示が行えるようになる。
- ・Webサーバーへのアップロードなどが行えるようになる。
- ・WordPressでの記事の投稿などが行えるようになる。

授業計画

1. パソコンやファイルサーバや使い方、制作環境の準備
2. Web制作について、Webサイト制作の流れ
3. HTMLの基本
4. HTMLコーディング演習
5. CSSの基本
6. CSSコーディング演習
7. 様々な表現方法
8. Webサーバーの申し込みとアップロード
9. Web制作演習1
10. レスポンスWebデザイン基本 (スマートフォン対応)
11. レスポンスWebデザイン演習 (スマートフォン対応)
12. パーツ別レイアウト
13. CSSによる様々な表現方法
14. Web制作演習2 (Webデザインコンペの制作)
15. Web制作演習3 (ブライダル)

授業の進め方

1. テキストをベースにHTMLやCSSを理解する。
2. Webページ制作の演習を行い理解を深める。
3. レスポンスWebデザインや様々な表現方法を身につける。
4. 実際のWeb制作に近い制作を行い実践力を高める。

成績評価方法および水準

筆記試験と課題提出、および出席などの平常点で評価する。
※内訳は、筆記試験 (60%)、課題 (30%)、出席など (10%)

履修にあたっての留意点

- ・HTMLやCSSの理解とCSSレイアウト、レスポンスWebデザインを確実に身に着ける。
- ・定期的に復習を行う。

実務経験がある教員による授業科目

本校Webサイトの制作・運営の経験を活かしWeb制作の授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	Webリテラシー	年度	2019年度

学年	1年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	3単位
授業方法	講義	授業時数	66時間

科目の内容

Webに関する全般的な知識を身につけることが目標。クライアントとの打ち合わせや制作会議に参加した際に、話の内容が理解できるレベルを目指す。具体的には、レイアウトやデザインからWEBサイトを実現する技術、ワークフローなどWEB制作に関する全ての知識を学ぶ。

具体的な達成目標

- Web制作に関する専門用語や全般的な知識を身に付ける
- CG-ARTS協会主催のWebデザイナー検定ベーシックへの合格

授業計画

1. ビットとバイト、情報の単位、グラフィックデザインとWebデザイン
2. レイアウト
3. タイポグラフィ
4. グラフィックス
5. 情報の構造
6. インタフェースとナビゲーション
7. 動きと音
8. Webデザインへのアプローチ
9. コンセプトメイキング
10. Webサイトを実現する技術
11. Webサイトのテストと運用
12. 知的財産権
13. Webデザイナー検定対策
14. グループワーク

授業の進め方

1. テキストに沿って板書多めで授業を進める。
2. 前回までの復習を兼ねて確認テストを行う。
3. 制作現場の話をつなぎ交ぜ具体的に説明する。
4. 検定試験前には模擬試験を行う。

成績評価方法および水準

筆記試験、および出席などの平常点で評価する。
※内訳は、筆記試験（90%）、出席など（10%）

履修にあたっての留意点

- 毎回、前回の内容から確認テストを行い理解を深める
- 可能な限り制作現場でのエピソードを話す

実務経験がある教員による授業科目

本校Webサイトの制作・運営の経験を活かしWeb制作に関する知識的な授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	Webデザイン I	年度	2019年度

学年	1年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	3単位
授業方法	演習	授業時数	66時間

科目の内容

Web制作におけるグラフィックツールの操作を学習するとともに、広告デザインの基礎を身につける。また、現代において必須のアクセシビリティ、ユーザビリティを考慮したデザインとは何か？を探求する。

具体的な達成目標

デザインの基礎や各ツールの使用法をしっかりとマスターしつつ、現代広告を日常的に探求するスタンスを身につける。人に伝えるとは何か？また、何故、そのデザインをするべきなのか？それを考える能力を身につける事を目標とする。

授業計画

1. 広告デザインとは何か？
2. タイポグラフィの基本的なテクニック
3. Illustrator+Photoshopの操作法とレイアウトスタンダード
4. 企画・設計・制作プロセスを学ぶ
5. 戦略とは何か？
6. Webデザインのレイアウト、配色、タイポグラフィ
7. デザイン模写(プロの作ったサイトのデザインを解析し、デザイナーの思考、方法論をプロファイルする)
8. 疑似案件 デザイン実践(制作のプロセスを実践的に学ぶ)
9. Webデザインコンペ制作

授業の進め方

1. 座学による基礎理論でまずはしっかりと知識の地盤を作り、ロジカルなデザインアプローチをマスターする。
2. ツールの使い方を実践で学び、想像したデザインをアウトプットするための知識を学ぶ。
3. 疑似案件を経験することで、制作プロセスの流れを理解する。

成績評価方法および水準

課題提出による評価を基本として、出席率・授業態度を加味して評価とする。

履修にあたっての留意点

プロを目指す者としての意識を持ち、納期の厳守等、プロとしての行動を求める。また、デザインに没頭することの楽しさを伝えたい。

実務経験がある教員による授業科目

制作会社でのWeb制作やグラフィックデザインの経験を活かしWebデザインの授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	WEBデザイナーコース
科目名	イラストレーション	年度	2019年

学年	1年	開設期間	通年
必修・選択	共通	単位数	3単位
授業方法	演習	授業時数	66時間

科目の内容

イラストやデザインアイデアをすばやく描きとめる為のクロッキー力を身につける。

具体的な達成目標

単純な画材(鉛筆)を使いこなし、比率、サイズに対する厳密な感覚を身につける。
簡単なイラストを短時間で描くことができる。

授業計画

静物デッサン1 モチーフ、トイレットペーパー
クロッキー モチーフ、人物、練りゴムなど
静物デッサン2 モチーフ、携帯電話
イラストレーション1 広告とキャラクターイラスト
イラストレーション2 4コマ漫画によるストーリーとイラスト

授業の進め方

- ①画材を扱うことに慣れるとともに、遠近法、モチーフの比率、サイズ、陰影への理解を深める。
- ②様々なモチーフを描くことにより、モチーフの比率、サイズ、質感をより素早く捉える。
- ③画材を使いこなし、より厳密なサイズ感覚を身につける。
- ④学習を生かし、伝わりやすく、親しみやすいイラストを作る。

成績評価方法および水準

各単元にて作品を最低限で1作品提出。授業の理解度に応じて加点。
最低限数の提出作品において60点とし、これを合格ラインとする。

履修にあたっての留意点

授業時間外でも絵を描く時間を極力もうけること。

実務経験がある教員による授業科目

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	色彩科学	年度	2019年度

学年	1年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	3単位
授業方法	講義	授業時数	84時間

科目の内容

色彩の基本知識からWEBページの配色、企画書作成の為に配色などの色彩スキルを重点的に学ぶ。また、応用としては、色を与える心理的効果を活用した配色、目の不自由な方でも閲覧できる色使いなど色彩のユニバーサルデザインについても学ぶ。

具体的な達成目標

WEB制作などの商業デザインにおいて、好き嫌いで色を選ぶのではなく、制作内容や目的によって色を使いこなせるようになること。

授業計画

- ① 色彩の基礎
- ② PCCS
- ③ 色彩の働き
- ④ 色のイメージ
- ⑤ 配色のイメージ
- ⑥ 色彩調和
- ⑦ 色の機能性
- ⑧ 光と色の関係

「色彩検定3級対策」も含む授業進行予定 * 11月色彩検定直前土曜日に対策授業

授業の進め方

色彩検定公式テキストを中心に、過去問題を解きながら検定合格ラインまで理解度を深めていく。

成績評価方法および水準

定期試験 60% 平常点 40%

履修にあたっての留意点

実務経験がある教員による授業科目

カラーコーディネーターの経験を活かし色彩の授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	通販リテラシー	年度	2019年度

学年	1年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	3単位
授業方法	講義	授業時数	66時間

科目の内容

通販エキスパート検定3級の試験対策の実施を行い合格を目指すと共に、通販の歴史や仕組み等の基礎知識から顧客対応・通販に係わる法律の意識等を広く知って貰う。

具体的な達成目標

通信販売に関する識や仕組みを理解すること、通販エキスパート検定3級への合格を目指す

授業計画

4月～
 通販リテラシーとは
 1章 通販の歴史・特徴と市場規模
 2章 通販の仕組みと基本的フロー
 3章 通販の事業モデルと代表的企業

7月～
 前期試験対策

9月～
 4章 通販の媒体と広告戦略
 5章 ネット&モバイル通販の基礎知識
 6章 通販の顧客対応とコンプライアンス
 7章 通販にかかわる各種法律知識

復習テスト

12月
 検定試験対策・後期試験対策

1月・2月
 商品ページ制作実践

授業の進め方

- ①テキストを中心に、通販の基礎知識や仕組みを理解する。
- ②用語の説明は、実際に行われている通販を例に知識を深める。
- ③各章終了後に、練習問題を実施する。

成績評価方法および水準

定期試験（60%）、実践課題（30%）、出席状況（10%）により評価

履修にあたっての留意点

実務経験がある教員による授業科目

ネットショップの運営や通販に特化したWeb制作会社での経験を活かし通販に関する授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	オフィスアプリケーション	年度	2019年度

学年	1年	開設期間	通年
必修・選択	必須	単位数	5単位
授業方法	演習	授業時数	132時間

科目の内容

現在のビジネス社会では、パソコンの操作、特にMicrosoft Excel・Wordの技術は必要不可欠なものとなっている。この科目では、Wordの基本操作の習得、および、Excelで基礎的な表計算処理の技術を習得する。

具体的な達成目標

この科目を終了すると、受講生は次の作業、活用ができるようになる

(Word)

- ① 文章の入力や編集、表の作成、図の挿入、図形描画ができる
- ② ビジネス文書の様式を理解し、作成できる

(Excel)

- ① データ入力、ワークシートの編集、書式設定ができる
- ② 計算式、グラフ、関数を設定し、高度な作表ができる
- ③ データベース機能を使用し、的確なデータ分析や効果的な資料の作成ができる

目標検定

日本語ワープロ技能標準試験 2級
表計算技能標準試験 2級
MOS Excel2010 Expert

授業計画

Word	<ol style="list-style-type: none"> ① 文字、記号、漢字変換、文章入力 ② ビジネス文書の作成 ③ クリップアート・図形描画機能 ④ 他アプリとの連携 ⑤ 日本語ワープロ技能標準試験 2級 検定対策
Excel	<ol style="list-style-type: none"> ① データ入力・ワークシート編集、書式設定、 ② 計算式入力・グラフ作成 ③ 関数を使用した計算式 ④ データベース機能を使用した表の操作 ⑤ 表計算技能標準試験 2級 検定対策 ⑥ MOS 検定対策

授業の進め方

- ① 実習にてテーマの機能ごとに、操作技能を高める
- ② 実習課題を実践し、機能の理解を深める
- ③ 検定試験受験とその対策により、習得した知識・技術の確認を行う

成績評価方法および水準

定期試験の成績および、実習における課題の成果で、最終成績を評価する。
定期試験の結果が60点に達した者を合格とし、出席点・実習課題の提出成果点を合わせて20点までの範囲で加算したものを評価対象とする。
定期試験の結果が60点に達しない場合は再試験を行い、60点に達した者を合格とする。
再試験の結果が60点に達しない場合は、再試験の結果に出席点・実習課題の提出成果点を合わせて20点までの範囲で加算したものを最終成績とする。

履修にあたっての留意点

常に現在の実習課題の目的を理解・確認しながら実習にのぞむことが大切である。

実務経験がある教員による授業科目

--

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	ビジネスマナー	年度	2019年度

学年	1年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	3単位
授業方法	演習	授業時数	66時間

科目の内容

この科目では、社会人に必要とされる「ビジネスマナー」を、さまざまな角度から知り、日ごろから意識、実践できることをねらいとする。前期は導入として「なりたい社会人像」「求められる自分」を目標として設定し、この時間を「社会人」として過ごすことで社会人としての基盤となる考え方やスキルを学ぶ。後期は知識を自分の経験とするために、様々なシミュレーションをして経験することで、就職むかって自ら考え行動できる自分になる。また、期間中に行われる模擬面接で「自分」を自信を持ってアピールする力を育む。

具体的な達成目標

- ①社会人に必要とされるスキル（PDCA、ほうれんそう、ビジネス手帳の活用等）の必要性を知る。
- ②マナー＝心遣いであることを理解し、日常生活でも立ち居振る舞いや言葉遣いに意識を傾ける
- ③1月に行われる模擬面接や模擬結婚式、その後続く就職活動に主体的に取り組む（自分で考え、自分で動く）

授業計画

1. オリエンテーション（あなたは何をしにここに来た？自分・学科のビジョン確立）
2. 社会って何だろう？社会人には何が必要？
3. 社会人スキル 基本のキ！あいさつ・返事
4. 社会人スキル 自己管理・コミュニケーション（敬語）・PDCA・ホウレンソウ
5. 社会人スキル まとめ（ケーススタディ）
6. 知っているから、出来るになる為に
7. 会社をシミュレーション
8. 伝える技術を考える（伝わると伝えるの違い）
9. 声をかけてみよう（撮影時のコミュニケーション）
10. 主体的に動くとは？（自分を〇〇で表現する）
11. 形作り（社会人の立ち居振る舞い・・・スーツ着用）
12. プレゼンテーションの実際（考え方、伝え方）
13. ポートフォリオプレゼンテーション
14. 就職活動に向けて①（電話をかける・訪問のマナー・企業研究）
15. 就職活動に向けて②（自分を売り込む・質問する・PRする）

授業の進め方

1. 全員であいさつ
2. 本日の授業目的・ゴール伝達
3. 方法の説明
4. ケーススタディ、ロールプレイング
5. フィードバック
6. 次回授業への考察

成績評価方法および水準

平常点・・・40点（授業態度・学習意欲・ロールプレイング成長度合い・出席率）
 定期試験・・・60点（筆記試験（前期）社会人の知識 / 実技試験（後期）ポートフォリオ・プレゼンテーション）

履修にあたっての留意点

この時間は「社会人」としてここにいるという意識付けをしっかりと行い、実際の会社で行われている様々な業務を知識と体験両面から学び、主体性を持って就職活動に向き合えるよう指導を行う。

実務経験がある教員による授業科目

--

学科	ITエンジニア科	コース	共通
科目名	社会人基礎 (NIE)	年度	2019年度

学年	1年	開設期間	前期
必修・選択	必修	単位数	1単位
授業方法	演習	授業時数	24時間

科目の内容

この科目では、社会人基礎力として必要とされる「読む力」「考える力」「伝える力」を、新聞を通して理解・習得する。4月から7月まで毎登校日に朝から新聞を読みスクラップを行うという学校の取り組みと連動して、読解力を高め自分なりの意見を持つこと、それを端的に文章化し皆の前で発表すること、一つのテーマで討議するなど社会で必要とされる力を体系的に身につける。

具体的な達成目標

- ①自分の将来につながる「マイテーマ」で3分間（予定）のスクラッププレゼンを全員が行う
- ②毎日新聞を読むこと、スクラップすることを全員が達成でき、継続する中で個々が読解力や相手に伝える力の向上を実感できる

授業計画

1. オリエンテーション（毎日の新聞の読み方・スクラップの方法）
2. 出会いのメディア・・・新聞
3. 新聞のしくみ・マイテーマへの意識提案
4. コメンテーターになる&マイテーマの確認・確定
5. コメント力を高める（聴く・取材する・書く）
6. ディベート（自分の意見を持ち相手と交わす）
7. 面接会（学生同士）質問する力・答える力を養う
8. マイテーマ発表準備
9. マイテーマ発表
10. N I E振り返りとこれから

授業の進め方

1. トピック&ウォーミングアップ
2. 本日のテーマ
3. 発表・フィードバック
4. まとめ、次回への考察

成績評価方法および水準

平常点・・・40点（出席率・授業態度・プレゼンの内容）
 定期試験・・・60点（筆記試験またはプレゼンテーション・スクラップ提出）

履修にあたっての留意点

継続してスクラップを行い、授業を通して将来を考える契機とできるよう積極的に取り組む
 「恥をかく」ことを恐れず、正解のない自由な答えを自身の意見として堂々と発表する
 他者を受け入れるために、「話をよく聞く、理解しようとする、関わろうとする」姿勢を持つ

実務経験がある教員による授業科目

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	表現技法	年度	2019年度

学年	1年	開設期間	後期
必修・選択	必修	単位数	1単位
授業方法	演習	授業時数	42時間

科目の内容

就職活動において不可欠である履歴書の書式の習得及び限られたスペース・文字数の中で、最も伝えたいことを表現することを目的とする。
また履歴書を作成することで就職への意識を高める。

具体的な達成目標

集団模擬面接・個人模擬面接までに就職活動本番の基礎となる履歴書の作成。
あらゆる職種・業種においても通用するような内容。
職種・業種の決定。

授業計画

- ・項目ごとにテーマに沿った内容を自由に表現させ、添削
同時に目的、留意点を説明
- ① 得意な科目
- ② 自覚している性格
- ③ 部活動などで学んだこと
- ④ アピールポイント
- ⑤ 志望動機
- ・履歴書全体における留意点の説明
- ・清書

授業の進め方

- ・敬語・尊敬語・謙譲語の使い分け、正しい漢字の指導。
- ・部活動やボランティア活動の経験がない生徒は書くことに苦労しているので、会話をすることでヒントとなるトピックを引き出す。

成績評価方法および水準

テストは行わず、日頃の取り組む姿勢や出席率、提出期限の厳守を重視する。

履修にあたっての留意点

なし

実務経験がある教員による授業科目

--

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	一般教養	年度	2019年度

学年	1年	開設期間	通年
必修・選択	必須	単位数	3単位
授業方法	講義	授業時数	66時間

科目の内容

この科目では、就職活動及び試験に備えた対策として、一般教養（SPIの言語、非言語問題、時事問題等）の基礎を学習する。就職活動実践ワークブックと書籍（あなたの天職がわかる16の性格）を活用し、自己分析を行った上で業界、企業研究について学習する。また、履歴書、エントリーシートや面接対策なども実施し、自信を持って就職活動を行う力を身につける。

具体的な達成目標

この科目を修了すると、受講生は次の就職活動に向けた準備ができるようになる。

- ①SPIの言語、非言語問題等の学習に日頃から取り組み、学習を習慣化できる。
- ②自己分析を実施し、自分の長所、短所を自分の言葉で相手に解り易く伝えることができる。
- ③自ら積極的に企業研究や希望訪問を実施することが出来る。
- ④履歴書やエントリーシートなどを作成することができる。
- ⑤就職面接で自信を持った受け答えができる。

授業計画

1. SPI非言語（分数、少数の計算）
2. SPI非言語（四則の混合算、パーセントの計算）
3. SPI非言語（十の位と一の位の計算）
4. SPI非言語（比、割合の計算）
5. SPI非言語（時間の範囲）
6. SPI非言語（電車の発車時刻）
7. SPI非言語（料金計算、損益算）
8. SPI非言語（速さ・時間・距離）
9. SPI非言語（流水算・通過算）
10. SPI非言語（仕事算・濃度算）
11. SPI言語（対義語、2語の関係、漢字、文章理解）
12. 就活関連（自己分析、自己理解）
13. 就活関連（キャリアプランを考える）
14. 就活関連（求人情報の収集方法、時事問題など）
15. 就活関連（面接対策）

授業の進め方

- ①座学を主として、SPIの非言語、言語問題の基本的な問題を理解する。
- ②SPIの練習問題プリント、小テストプリントで理解度の確認を行う。
- ③就活準備として、テキスト等のワークを実施し、自己分析、自己理解を深める。また求人情報の収集方法などを紹介する。
- ④就職試験対策として、業界研究、職種理解、履歴書、面接練習などを行い、実践力の習熟度の確認を行う。

成績評価方法及び水準

- ・成績の評価は平常点を40%、定期試験を60%として評価する。
- ・平常点は出席状況を反映する。
- ・定期試験は、SPIの非言語問題を主とし、言語問題や作文等も出題する。

履修にあたっての留意点

教科書(基礎から学ぶSPIベーシック問題集、キャリアプランからはじめる就職活動実践！ワークブック、あなたの天職がわかる16の性格)及び、手帳、赤鉛筆又は赤ペンは、毎時間用意する。

実務経験がある教員による授業科目

学科	ITビジネス科	コース	WEBデザイナーコース
科目名	デザインワーク	年度	2019年度

学年	1年	開設期間	通年
必修・選択	選択	単位数	3単位
授業方法	演習	授業時数	66時間

科目の内容

Photoshopの機能や操作をマスターし、デザインツールとして使いこなせるようになる。このため、前期はオペレーションを中心に見出しやバナー制作などを繰り返し行う。後期は、Webページのデザインを繰り返し行う。Camera Rawやスライスツールで画像の切り出しなどもマスターする。

具体的な達成目標

- ・Photoshopの機能やオペレーションの習得
- ・Webページで使用するロゴや見出し、メニュー画像、バナー制作などのスキルアップ
- ・Webデザインのスキルアップ
- ・ポートフォリオサイトの制作
- ・Webデザインコンペの制作
- ・ブライダルサイトのデザイン

授業計画

1. Photoshop入門（基本的な操作を学ぶ）
2. 見出し制作演習（見出しを制作しながら操作や制作方法を学ぶ）
3. 見出し制作実習
4. バナー制作演習（バナーを制作しながら操作や制作方法を学ぶ）
5. バナー制作実習（4時間）
6. ポートフォリオサイト（ペライチ）
7. ポートフォリオサイト（シーケンシャル構造）
8. ポートフォリオサイト（ツリー構造）
9. Webデザインコンペのサイトデザイン
10. ブライダルサイトのデザイン

授業の進め方

1. 最初の数回で基本的な機能を一通り学ぶ
2. 前期は、見出しやバナーを制作しながらPhotoshopの機能や制作方法を学ぶ
3. 後期は、ポートフォリオサイトの構成やデザインを考えつつ制作する
4. 1年次の総合的な演習として、Webデザインコンペのサイトデザインやブライダルサイトのデザインを制作する

※時期により授業の進め方が変わる

成績評価方法および水準

提出された課題を全て点数化し、出席などの平常点あわせて評価する。
※内訳は、課題（90%）、出席など（10%）

履修にあたっての留意点

- ・授業は週1コマしかないので、クリエイティブ業界に就職するには、授業時間以外にどれだけ制作できるかがカギとなる。
- ・人よりも多く作る。

実務経験がある教員による授業科目

本校Webサイトの制作・運営の経験を活かしWebサイトに使用する様々な画像の作成方法について授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	WEBデザイナーコース
科目名	プログラミング基礎	年度	2019年度

学年	1年	開設期間	通年
必修・選択	選択	単位数	3単位
授業方法	演習	授業時数	66時間

科目の内容

- ・プログラミングを行うにあたっての基礎的な考え方を身に着ける。
- ・JavaScriptの基本を身に着け、HTMLにおけるDOM構造を理解し、ロールオーバーやスライダーなど、Webサイトで多用する効果を作成できるようになる。
- ・jQueryなどのJavaScriptライブラリを使用できるようになる。

具体的な達成目標

- ・目標達成のために必要な処理を論理的に考え、整理できるようになる。
- ・DOM構造の基本を理解し、特定の要素にアクセスできるようになる。
- ・ロールオーバーやスライダーなど、要素を切り替える処理ができるようになる。
- ・jQueryなどのJavaScriptライブラリの仕組みを理解し必要に応じて使用できるようになる。

授業計画

1. アルゴリズムとは
2. JavaScriptとは
3. プログラミングの基礎的な考え方
4. JavaScriptの記述方法
5. コンソールツールの使用方法
6. JavaScriptの基礎と制御構文
(変数、配列、if, switch、ループ(for, while, ネスト)、ifのネスト、関数)
7. イベントとは
8. オブジェクト
9. JavaScriptライブラリとは
10. jQueryとは
11. jQueryの使用方法
12. jQueryの文法
13. JavaScriptを更に理解するために

授業の進め方

codecombatやFight Code等を利用して、JavaScriptやプログラミングの基礎的な考え方を修得
書籍に記載されているサンプルコードを写経し、記述内容と実際の動作を照らし合わせ、機能を理解する

成績評価方法および水準

- ・成績の評価は平常点を10%、定期試験（前期）を30%、課題（通年）を60%として評価する。
- ・平常点は出席状況とする。
- ・定期試験は、修了した内容についての知識試験を行う。

履修にあたっての留意点

実務経験がある教員による授業科目

システムエンジニアやWeb制作会社でのWebプログラマーの経験を活かしJavaScriptの授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	ネットショップコース
科目名	ネットショップ運営 I	年度	2019年度

学年	1年	開設期間	通年
必修・選択	選択	単位数	5単位
授業方法	演習	授業時数	132時間

科目の内容

ネットショップを作成するために必要なグラフィックソフト（Photoshop）の習得とJavaScriptとアルゴリズムの基礎を学ぶ。

具体的な達成目標

- 1、Photoshopによりバナーや見出し画像の作成やページのデザインを行えるようになる。
- 2、プログラミングの基礎を身に付ける。
- 3、jQueryプラグインの組み込みや簡単なカスタマイズを出来るようになる。

授業計画

1. Photoshopのオペレーション
2. 見出し画像作成演習
JavaScriptの基礎、Code CombatによるJavaScriptの演習
3. 見出し画像作成演習、バナー制作演習
JavaScriptの基礎、Code CombatによるJavaScriptの演習
4. バナー制作課題
5. テストマーケティング用のブログ作成と運用
Code CombatによるJavaScriptの演習、jQueryプラグインの組み込み
6. テストマーケティング用のブログ作成と運用
Code CombatによるJavaScriptの演習、jQueryプラグインの組み込み
Webデザインコンペ制作
7. Webデザインコンペ制作
jQueryスライダーの作成

授業の進め方

講義と演習を交互に繰り返しながら授業をすすめる。
一つひとつの単元を確りと身につけることが大切である。

成績評価方法および水準

提出物（60%）、確認テスト（30%）、出席状況（10%）により評価

履修にあたっての留意点

実務経験がある教員による授業科目

通販に特化したWeb制作会社での経験を活かし、ネットショップ構築の授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	Web制作Ⅱ	年度	2019年度

学年	2年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	8単位
授業方法	演習	授業時数	192時間

科目の内容

目標を達成するために最適なデザインを考え、コーディングやページの量産を行うことで、Webサイト制作の一連の流れを体験する。また、WordPressテーマの作成、検索エンジン対策、スクリプトを使用した演出などWeb制作現場に必要な技術についても学習する。

具体的な達成目標

- Web制作に関する一連の流れを身に付ける
- 見る人のことを考えた企画書の制作を心がける
- WordPressのテーマ制作
- 検索エンジン対策の基礎を身に付ける
- CSSやスクリプトを使用した演出などの制作

授業計画

週2時間を「ビジネス・制作パート」、1時間を「テクニカルパート」に分けて授業を行う。

【ビジネス・制作パート】

1. ブライダルサイトの制作
2. ネットショップの企画
3. 企画書制作1
4. 企画書制作2
5. 基本デザイン作成
6. ベースのコーディング
7. ページの量産
8. ランディングページ制作
9. Webデザインコンペのデザインとコーディング

【テクニカルパート】

1. CSSを使った演出
2. JavaScriptを使った演出
3. jQueryを使った演出
4. WordPressテーマ制作の基本
5. オリジナルテーマの制作
6. 検索エンジン対策

授業の進め方

【ビジネス・制作パート】

1. ネットでは何が売れるのか？をリサーチし、社長になったつもりで1人1つのネットショップを立ち上げる（架空）
 2. 制作会社がクライアントに提出するような企画書を作成し、デザインやコーディングを行う
 3. ページを量産し、可能であればアクセス解析などを行いサイトの改善を行う
- ※時期により授業の内容や進め方は異なる

【テクニカルパート】

1. 毎回、最初に検索エンジン対策ページの順位チェックや更新を行う（約15分）
2. 次に、CSSやスクリプトを使った様々な演出について学ぶ（約20分）
3. 最後に、WordPressのテーマ制作について学ぶ（約45分）

成績評価方法および水準

提出された課題を全て点数化し、出席などの平常点あわせて評価する。
 ※内訳は、課題（90%）、出席など（10%）
 ※検索エンジン対策に関しては、検索結果の順位を点数に反映する。

履修にあたっての留意点

実務経験がある教員による授業科目

本校Webサイトの制作・運営の経験を活かしWeb制作の授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	CMSサイト構築	年度	2019年度

学年	2年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	5単位
授業方法	演習	授業時数	128時間

科目の内容

現在のウェブサイトの構築事例は静的なサイトからCMSを基本とした動的サイトへ移っている為、これら状況を前提にウェブ制作に実質的に欠かすことの出来ない技術としてCMSの基礎を学ぶ。

具体的な達成目標

CMSシステムの基本的概念の理解と、利便性と運用、セキュリティーの設計に至るまでを通年を通じて講義及び実技演習を元に構築。実際のウェブサイト構築が出来る技量を身につける。

授業計画

1. CMSの基礎的知識と比較
2. サーバー要件
レンタルサーバ各社の比較とシステムの理解
3. インストール検証 PHP及びDBのバージョンと整合性
インストールの実際
4. Joomla!の基本コンセプト
カテゴリの分類について 記事制作とHTMLエディタの使い方
5. モジュール構造の基礎的知識
モジュールの分類とモジュールポジションの考え方
6. プラグインの基礎的知識
サイト全体に影響するプラグインの概念の理解
7. コンポーネントの基礎知識
サイトに新たな統合環境を提供できるコンポーネントの構造
8. テンプレートの基礎的知識
デザイン的的操作におけるテンプレートの改造
9. セキュリティー設定
サイト上におけるセキュリティーの設定について
9. サイト構築実習
レスポンシブデザインを前提にしたサイトデザイン

授業の進め方

基本講義とともに、実際のサーバ上にサイトを構築。講義においては、随時推移画面をキャプチャーして資料としてまとめながらSNSなどを利用して、振り返って確認ができる内容とする。

成績評価方法および水準

最終的成果物の評価及び、出席、授業態度等を総合的に判断する。

履修にあたっての留意点

ウェブサイト構築は、単純にCMSだけの知識では成り立たず、画像、テキストその他のデザイン的要素も大きく影響する為、総合的なリテラシーを必要するものであり、普段からの情報収集と技術の研鑽を望む。

実務経験がある教員による授業科目

Joomla!によるWeb制作の経験を活かしCMSによるサイト構築の授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	DTP	年度	2019年度

学年	2年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	3単位
授業方法	演習	授業時数	64時間

科目の内容

印刷業界などで広く使われるIllustratorの操作を習得し、DTP制作物の作成方法とその活用方法を学習する。

具体的な達成目標

この科目では、「印刷物を表現したいイメージ通りに印刷するため」に必要なデータ作成技術習得を目指す。

- ・Illustratorの操作の習得
- ・POPやチラシ等の制作
- ・就職活動用のポートフォリオの制作

授業計画

1. illustratorの基本操作と設定の理解
3. 名刺の制作
 - ・ドキュメント設定
 - ・文字ツールでの文字入力
 - ・カラーの反映
2. オブジェクトの描画・作成
3. チラシの制作
 - ・オブジェクトにカラー、パターン、グラデーションの適用
 - ・オブジェクトの複製、整列
 - ・線の線幅、形状、カラーの編集
 - ・写真、画像の配置、加工
4. 紙面上においての文字の配置、バランス調整
5. ポートフォリオの制作
6. DMの制作
7. パッケージデザイン

授業の進め方

- ①実習課題をシミュレーターを用いて実践する。
- ②授業進行に応じて、課題を設定し、技能習得確認を行う。

成績評価方法および水準

- ・成績評価は、平常点を30%、課題提出を70%として評価する。
- ・平常点は、出席状況、平常の学習状況とする。
- ・課題提出は、各制作物の目標達成度を10段階評価の上合算。

履修にあたっての留意点

Illustratorのマスターを目的とするのではなく、ツールの一つとして自身が表現したいことや意図する印刷物を作れるようになることを目的とする。

実務経験がある教員による授業科目

--

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	マーケティング	年度	2019年度

学年	2年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	3単位
授業方法	演習	授業時数	64時間

科目の内容

- ①Webサイトの制作（デザイン/コーディング）に取り掛かる前段で必須となるマーケティングの理解を深める
- ②アウトプットを中心にした演習で、得た知識を活用する「実践力」を培う
- ③ロジカルシンキング、コミュニケーション能力を醸成することで社会に出てから有用な人材育成に取り組む

具体的な達成目標

- ①-1 マーケティングの基本である4P（Product、Place、Price、Promotion）を理解し、ケーススタディにおいてアウトプットを行う
- ①-2 消費者行動モデルや、分析手法を理解し、自社や自社を取り巻く環境をマクロ視点で分析する力を養う
- ①-3 実際の企業の課題に対するソリューションを提案する力をつける
- ②-1 グループワークを中心に行い、チーム内での役割分担や意思表示、コンセンサスへ導くアプローチを学ぶ
- ②-2 演習ごとにプレゼンテーションを行い、人前で説明する能力を高める
- ③-1 ディスカッション、グループワークを行うことで論理的思考力と協調性を身に付ける
- ③-2 時間内での合意形成や作業完了など、社会人として当たり前の「時間」「締切」を意識づける

授業計画

- (1) マーケティング概論
- (2) 4P … Product Price Place Promotion
- (3) 消費者行動モデル
- (4) STP分析
- (5) ペルソナ
- (6) SWOT分析
- (7) 3C分析
- (8) マーケティングリサーチ
- (9) アクセス解析
- (10) ファンマーケティング
- (11) インサイト開発
- (12) 実践ケーススタディ

授業の進め方

- プレゼン形式で基礎講義（マーケティング用語の解説）を行う。
板書等はしないので重要だと思うことは適宜、「マインドマップシート」に記入していく事
- 基礎講義後に、グループまたは個人でのプレゼンテーションを実践演習として行う。
グループワークの場合、プレゼンター（発表者）以外にもグループの意見（アイデア）をワークシートに記載しておくこと。
成績評価の対象となります。

成績評価方法および水準

演習ごとに個人またはグループでの課題に取り組み、その内容で評価を行う。

履修にあたっての留意点

- ・定期テストは実施しない
- ・毎回の演習を受講する際は、楽しみながら学ぶことを心がける

実務経験がある教員による授業科目

コンサルティング会社でのコンサルティング経験を活かしクラウドやSNS活用などの授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	コピーライティング	年度	2019年度

学年	2年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	3単位
授業方法	演習	授業時数	64時間

科目の内容

文章を書くのが苦手な学生にとって、まずは書くことへの抵抗感を少しでもなくすことが本科目の狙い。前期は商業的に通じる文章力を、後期は広告制作時に役立つ「キャッチコピー」「リードコピー」「ボディコピー」の繋がりを考えながら繰り返し練習を行う。

具体的な達成目標

Webサイトや紙の制作物において「クライアントの要望にこたえつつ、読む人に正確でわかりやすく伝わる」表現を意識し、自分の言葉で文章が書けるようになることが目標。

授業計画

1. 私的文章と商業的な文章についての概念
2. 自分PRの執筆
3. 「読者」を意識した文章の制作（商品紹介編）
4. 「読者」を意識した文章の制作（店紹介編）
5. 商業的ブログやSNSでの文章の書き方
6. 広告コピーの概念
7. 有名コピーから「広告コピーのアプローチ」を研究
8. キャッチコピー・ボディコピーの作り方
9. 宣伝会議賞への課題応募
10. インタビュー記事の概念
11. インタビュー記事のやり方・まとめ方の実践

授業の進め方

- 1) 座学を主とし、毎回課題を与えて、実際に「物を書くこと」を体験してもらう。
- 2) 自身の文章を講師が添削し、元原稿と添削後の違いを理解。
- 3) クラスですべての文章を共有し、自分と他人の文章の書き方の違いや特徴を理解する。
- 4) 後期は『宣伝会議賞』に広告コピーを全員で応募し、スキルを競う。
- 5) インタビューでは、「コミュニケーション力」「洞察力」「理解力」を身につけ、簡潔に特徴のある文章をまとめる技術を身につける。

成績評価方法および水準

- ・成績の評価は平常点を30%とし、毎回の課題を30%、定期課題（試験時期に合わせた総合的な課題）40%として評価する。

履修にあたっての留意点

座学で知り得た知識を、課題でどれだけ反映させることができるかを重要視します。

実務経験がある教員による授業科目

コピーライターの実験を活かしコピーライティングの授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	プレゼンテーション演習	年度	2019年度

学年	2年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	3単位
授業方法	演習	授業時数	64時間

科目の内容

情報化社会でますます重視されてきているプレゼンテーション能力。
これに対応するために、代表的なプレゼンテーションツールであるマイクロソフト社のPowerPointを使用して、プレゼンテーション能力の向上を図ります。

具体的な達成目標

PowerPointの操作、機能を理解し習得すること。
プレゼンテーションのスライドの作成、発表を繰り返すことで、プレゼンテーション技術の向上を目指します。

授業計画

1. PowerPointの基本操作
 2. プレゼンテーション資料を作ってみよう
 3. プレゼンテーションとは？
 4. プレゼンテーションで重要なこと
 5. プレゼンテーションの概要（流れ、準備の流れ）
 6. プレゼンテーションのストーリー
 7. プレゼンテーションのテクニック
 8. プレゼンテーション実践
- 資料の作成 ⇒ 発表 ⇒ 振り返り を繰り返して行います。

授業の進め方

主にテキストに沿って、PowerPointの操作、機能を理解し、習得します。
プレゼンテーションの実践を繰り返し行い、振り返りを行うことにより、プレゼンテーション技術の向上を目指します。

成績評価方法および水準

課題提出の成績を主とし、出席状況、平常の学習状況などを加味し、最終成績を評価します。
成績の評価は、平常点30%、課題提出を70%として評価します。

履修にあたっての留意点

実務経験がある教員による授業科目

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	IT実務	年度	2019年度

学年	2年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	5単位
授業方法	演習	授業時数	128時間

科目の内容

- ①Webサイト制作後の運用を踏まえたデザインやコーディングを行う為の知識を身に付ける
- ②仮説⇒実行⇒検証⇒改善のPDCAサイクルを念頭に置いた業務遂行ができる論理的思考力を身に付ける
- ③クラウドサービスやソーシャルネットワークサービスを活用した業務の基礎を学ぶ

具体的な達成目標

- ①-1 Webサイトの制作後に行う運用に関して、具体的手法が理解できようになる
- ①-2 SNSを中心とした情報発信に関する手法が身に付く
- ②-1 施策の目的やターゲット設定、効果検証など一連の流れが理解できるようになる
- ②-2 効果検証を行い、改善策の立案に関する経験値を得ることができる
- ③-1 クラウドサービスを活用したデータの受け渡しなどITビジネスを行う上での最低限のリテラシーを保持する
- ③-2 SNSを活用してプロモーションを行う際のモラルや、実際の反応を体感することができる

授業計画

- (1) オリエンテーション
- (2) クラウドサービスの利用に関して
- (3) Word、Excel、PowerPointの活用
- (4) SNS特性/プロモーション利用
- (5) Facebook投稿演習
- (6) Instagram投稿演習
- (7) Twitter投稿演習
- (8) LINE@投稿演習
- (9) SNSプロモーション実践 I
- (10) LINEスタンプ制作
- (11) SNSプロモーション実践 II
- (12) クライアントワーク I
- (13) クライアントワーク II

授業の進め方

- 業務を行う上でのノウハウ（データのやり取りやOfficeの活用）を学び、土台作りを行う
- 各SNSの特性を理解した上で、演習で実体験をする
- 演習での実体験をもとに、課題に則したメディア選定やプロモーション方法を学ぶ
- 施策の効果検証や改善策を立案することでPDCAサイクルの構築ができるようになる
- 実際のクライアントからの依頼に対して対応する力を身に付ける

成績評価方法および水準

- 課題ごとの投稿演習や、報告書提出、プレゼンテーションを点数化し、評価する。
評価基準は、以下の通り
・期限内に間に合うこと、・報告書の論理的整合性、・プレゼンテーションの分かりやすさ、・チームワーク

履修にあたっての留意点

- ・可能な限り、現場の実践に近い課題を与えていくため、協力会社への言動には注意すること
- ・グループワークの際は、協力して課題に取り組む事

実務経験がある教員による授業科目

コンサルティング会社でのコンサルティング経験を活かしクラウドやSNS活用などの授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	ビジネス実務	年度	2019年度

学年	2年	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	3単位
授業方法	演習	授業時数	64時間

科目の内容

①社会人となることへの自覚と心構えを持つ。
 ②実社会で必要とされる、立場をわきまえた言葉遣い、接客（受付）応対、電話応対、メール、名刺交換、報告や相談の仕方、慶弔のマナーなどの様々なシーンでのビジネスマナーについて、状況を設定し実践しながら身につける。

具体的な達成目標

この科目を修了すると、受講生は次のビジネスシーンでの対応ができるようになる。

- ①社会人として働く意義を理解し、心構えができる。
- ②仕事での指示の受け方や報告の仕方を理解し実行できる。
- ③社内や社外で、立場をわきまえ相手に思いやりのある正しい言葉遣いができる。
- ④会社の事業内容を理解し、相手に会社の代表として好印象を与える電話応対が適切（取り次ぎや伝言処理）にできる。
- ⑤来社されるお客様に対し笑顔で応対し接客（受付応対、ご案内、お茶出し）が出来る。
- ⑥社内や社外に出されるビジネス文書やメールについて基本的な書式を理解し作成することができる。
- ⑦冠婚葬祭での振る舞いやマナーについて、基本的なことを理解し実行することができる。
- ⑧様々なビジネスシーンでどのような対応をすればいいか、自分で判断し行動できる。

授業計画

1. 社会人としての心構え（社会人と学生の違いについて考える）
2. 会社の仕組みと仕事の進め方
3. 敬語の使い方（社内での会話と社外に向けての会話）・・・ロールプレイング、小テストあり
4. 報告・連絡・相談の仕方・・・ロールプレイング、小テストあり
5. 電話応対（電話のかけ方と受け方）・・・ロールプレイング、小テストあり
6. メールのやり取り・・・実際に想定してやり取りする（教室でのPC環境チェックが必要）、小テストあり
7. ビジネス文書（社内文書と社外文書）・・・実際に想定して書式や言葉を学ぶ（実習室の使用は？）、小テストあり
8. 来客応対（受付応対・名刺交換・案内の仕方・お茶出し）・・・ロールプレイング、小テストあり
9. プレゼンテーションについて（卒業制作やコンペに向けて）・・・レクチャーと実践
10. 冠婚葬祭について・・・座学により定期試験を実施
11. 食事と席次のマナー・・・マリーゴールドでの研修
12. 接客や宴席のマナー・・・状況を設定して
13. その他のビジネスシーンでのマナー・・・状況を設定して実践

授業の進め方

- ①授業の目的・目標を理解する
- ②グループ（会社）ごとに朝礼をする
- ③それぞれの実習内容をロールプレイング式で実践する
- ④グループごとに自己評価しポイントを確認する
- ⑤実習した内容については「小テスト」を行い知識の確認をする
- ⑥「冠婚葬祭」など座学の場合は「定期試験」で知識の確認をする

成績評価方法および水準

前期/後期評価・・・定期試験（60%）＋提出物（10%）＋出席率（10%）＋平常点（服装や授業態度など）（20%）を総合し評価する。定期試験の評価として、授業中に行う「小テスト」を対象とする場合がある。その場合、授業で事前に告知する。

履修にあたっての留意点

○服装について・・・男性：そのまま仕事に行ける格好（ズボン・シャツなど）であること。ジーンズ・クロックスやスリッパ、半ズボンは不可。女性・・・スカートにパンプス・ストッキング・シャツは合うものを。長い髪は束ねる。アクセサリはTPOに合ったものを（大きすぎず派手過ぎず）なお、服装の乱れは、平常点として評価の対象とする。

実務経験がある教員による授業科目

--

学科	ITビジネス科	コース	共通
科目名	キャリアビジョン	年度	2019年度

学年	2年生	開設期間	通年
必修・選択	必修	単位数	3単位
授業方法	演習	授業時数	64時間

科目の内容			
-------	--	--	--

自己理解、職業理解からキャリアデザイン全体を理解すること。社会を捉えたコミュニケーションスキルをそれぞれのレベルでスキルアップすること。

具体的な達成目標			
----------	--	--	--

卒業時点での就職率を100%に近づけること。自分なりのキャリアビジョンを考え、成長できること。

授業計画			
------	--	--	--

- ① キャリアデザインに必要な考え方、行動
- ② キャリアデザインの理解
- ③ 職業、働き方を考える

授業の進め方			
--------	--	--	--

キャリアデザインの考え方を理解してもらいながら、学生それぞれのキャリアプランを作成し、実践していく。

成績評価方法および水準			
-------------	--	--	--

定期試験、小論文 60% 平常点 40%

履修にあたっての留意点			
-------------	--	--	--

実務経験がある教員による授業科目			
------------------	--	--	--

学科	ITビジネス科	コース	Webデザイナーコース
科目名	WebデザインII	年度	2019年度

学年	2年	開設期間	通年
必修・選択	選択	単位数	3単位
授業方法	演習	授業時数	64時間

科目の内容

実践的なウェブ制作のスキルを視覚と思考両面で鍛えていきます。ソフトの使い方だけではなく制作におけるより現場に近い包括的な知識を身に着けることが目的

具体的な達成目標

制作会社にとって戦力と認識される腕と思考と心を身につけること

授業計画

1. ウェブ制作の実際(即戦力とは?)
2. デザインとは?デザインがうまくなる方法
3. カッコイイウェブサイトをさがそう
4. バナー制作を制すものは全てを制す
5. チキチキバナー選手権
6. 切り抜きを極める
7. ディレクションについて
8. ワイヤフレームの作り方
9. フォントを極める
10. コンテンツファーストの時代に学ぶこと
11. UXについて
12. デザインと認知心理学
13. アイデア発想を学ぶ
14. UXについて

授業の進め方

前期 基礎的な技術や知識や業界に対する認識や生徒のモチベーションが上がる内容を中心に構成
後期 より実践的な制作スキルの習得と深度のある知識習得

成績評価方法および水準

定期試験(50%)、実践課題(40%)、出席状況(10%)により評価

履修にあたっての留意点

実務経験がある教員による授業科目

広告代理店でのWeb制作や独立後のWeb制作やグラフィックデザインの経験を活かしWebデザインの授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	WEBデザイナーコース
科目名	Webプログラミング	年度	2019年度

学年	2年	開設期間	通年
必修・選択	選択	単位数	3単位
授業方法	演習	授業時数	64時間

科目の内容

- ・ Webデザイナーとして働くために最低限必要な知識・技能を学習する。
- ・ PHPを用いることでできること/できないことを理解する。

具体的な達成目標

- ・ CMS等で使用されているPHPの基礎を理解し、基本的な文法を習得する。
- ・ PHPを使用するに当たり必要なドキュメントの利用法を習得する。
- ・ 各バージョンにおける機能の差異を理解し、案件に応じた処理の変更ができるようになる。

授業計画

1. JavaScriptを用いたプログラミングの基礎復習
2. PHPとは
3. サーバの基礎知識
4. PHPの記述方法
5. PHPの基礎と制御構文
(変数、基礎関数(if, for, while)、echo、オブジェクト)
6. オブジェクト指向とは
7. WordPressを絡めた実践的なPHP
(WordPress独自関数、function.php作成)

授業の進め方

- ・ 書籍に記載されているサンプルコードを写経し、記述内容と実際の動作を照らし合わせ、機能を理解する。
- ・ php.netを閲覧し各機能の基本的な内容を理解する。
- ・ WordPressを使用する上での基本的な処理を理解する。

成績評価方法および水準

- ・ 成績の評価は平常点を10%、定期試験（前期）を30%、課題（通年）を60%として評価する。
- ・ 平常点は出席状況とする。
- ・ 定期試験は、修了した内容についての知識試験を行う。

履修にあたっての留意点

プログラミングの基本を理解していること。

実務経験がある教員による授業科目

Web制作会社でのWebプログラマーの経験を活かしPHPなどWebプログラミングの授業を行う

学科	ITビジネス科	コース	ネットショップコース
科目名	ネットショップ運営Ⅱ	年度	2019年度

学年	2年	開設期間	通年
必修・選択	選択	単位数	5単位
授業方法	演習	授業時数	128時間

科目の内容

この科目では、ネットショップを運営するスタッフとして働くために必要な知識と技術の学習を行う。内容は、EC-CUBEの操作方法とカスタム方法を中心に学習する。また、ネットショップ運営に関わる受注業務・マーケティング業務・フォロー業務についても学習し、ネットショップ運営の全体像を学習する。

具体的な達成目標

- 1、EC-CUBEのインストールができる
- 2、EC-CUBEの操作方法（受注処理、顧客管理、売上管理、商品管理）が理解できる
- 3、EC-CUBEのカスタマイズができる
- 4、EC-CUBEでオリジナルネットショップを制作する

授業計画

1. EC-CUBE3の概要
2. ネットショップを開店する
3. EC-CUBE3をインストールする
4. 店舗情報および商品の設定
5. デザインのカスタマイズ
6. 機能のカスタマイズ

授業の進め方

- ①EC-CUBEの機能、フレームワーク構成、EC-CUBEの歴史など基本情報を学習する
- ②ショップの構造やデザイン、店舗の設定やカスタマイズ方法などネットショップを開店する為の知識を学習する
- ③動作環境やインストールに必須なデータベースの仕組みを学習し、EC-CUBEのインストールを行う
- ④ECサイト運営に必要な商品管理、受注管理、コンテンツ管理を学習する
- ⑤実際に購入できる状態にする為デザインの変更や、ブロックの配置について学習する
- ⑥ECサイトのフロント部分を作成後、機能追加ができるようにEC-CUBE3の構造及びプラグインの導入を学習する

成績評価方法および水準

デフォルトサイトのカスタマイズの操作方法や仕上がりによって評価する。また授業態度や出席状況も考慮する。

履修にあたっての留意点

EC-CUBEのカスタマイズにあたって、html・CSSの知識やPhotopshoの操作が必要となる。

実務経験がある教員による授業科目

通販に特化したWeb制作会社での経験を活かし、ネットショップ構築の授業を行う